

NECブース内オープンセミナー（概要、スケジュール）

No.	セミナー名称	概要
A	NECのシリコンフォトニクス技術への取組み	光通信用デバイスの次世代技術としてシリコンフォトニクス技術が注目されています。NECでは、光通信用デバイスの高速化、小型化、低消費電力化、機能集積化に必須の技術として研究開発に取り組んできました。本セミナーでは、製品化目前となったシリコンフォトニクス技術の動向について紹介いたします。同時にNECが製品化に向けて注力している基幹系WDM伝送用光デバイスへの適用例を紹介いたします。
	光デバイス統括部	
B	シリコンフォトニクス技術を適用したICRのご紹介	光通信用デバイスの小型化に有効なシリコンフォトニクス技術を適用したMicro ICRについて紹介いたします。現在OIFで標準化に向けて議論されているMicro ICRは、90度ハイブリットミキサーの小型化が必須であり、同時に偏波分離、VOA、モニター機能を搭載することが必須となっています。本セミナーでは、シリコンフォトニクス技術を応用したMicro ICRの特徴について紹介いたします。
	光デバイス統括部	
C	シリコンフォトニクス技術を適用したチューナブル光源とその応用	デジタルコヒーレントシステムに必須の狭線幅チューナブル光源を紹介いたします。外部共振器にシリコンフォトニクス技術を採用し、従来マイクロオプティクスで実現している外部共振器の小型化を実現しました。シリコンフォトニクス技術の適用により、小型・低消費電力で波長安定性に優れたチューナブル光源を実現しました。本セミナーでは、本技術の応用例として小型TLSモジュール、外部変調器と一体化したITTXについて紹介いたします。
	光デバイス統括部	
D	次世代デジタルコヒーレントトランシーバのご紹介	100Gデジタルコヒーレントシステムは、基幹系WDMシステムへの本格導入期に入り、今後メトロ系WDMシステムへの本格導入が期待されています。NECでは、これら市場動向を踏まえ、小型・低消費電力の168pin MSA準拠トランシーバ(Gen.2)、Coherent CFP2等の次世代製品の開発を進めています。本セミナーでは、これら次世代デジタルコヒーレントトランシーバの特徴について紹介いたします。
	光デバイス統括部	
E	フレキシブルな光ネットワーク実現を支える光通信技術の動向	100Gデジタルコヒーレントシステムの実用化が進み、デジタル信号技術によって、光ネットワークのこれまでにないフレキシビリティが提供されようとしています。本講演では、フレキシビリティと大容量の両立を支えるデジタルコヒーレント技術と光スイッチング技術を中心に、技術動向とNECの取り組みについて紹介いたします。
	グリーンプラットフォーム研究所	

No.	時間	4/16 (水)	4/17 (木)	4/18 (金)
1	11:30-12:00	A	C	E
2	13:00-13:30	B	B	A
3	14:00-14:30	E	E	B
4	15:00-15:30	C	A	C
5	16:00-16:30	D	D	D

※展示、セミナー内容は、予告なく変更する場合がございますので予めご了承下さい。